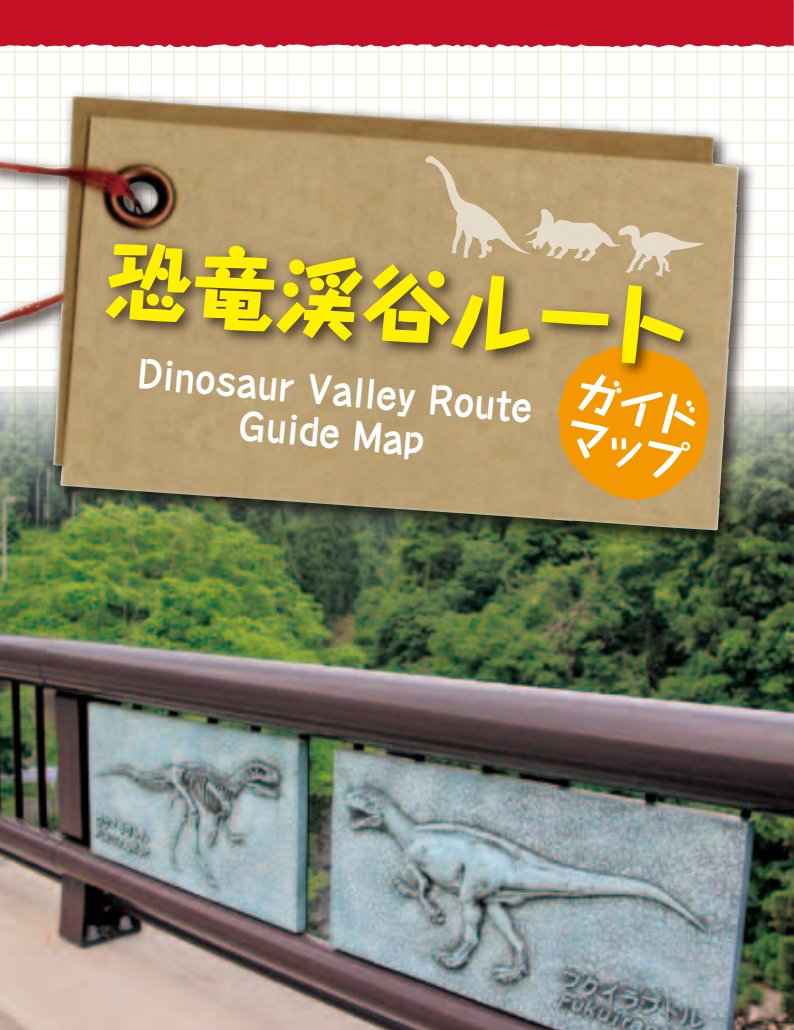




恐竜渓谷ふくい勝山ジオパーク推進協議会／勝山市

10 薬師神社（薬師の大イチョウ）

薬師神谷の白山神社の境内に生育している高さ約20m、幹周り7.7mで樹齢500年を越える大木で、実はならない雄株です。幹には大きな乳こぶが2本たれ下がっていて、昔から乳こぶの皮や木をせんじて飲むとよく乳がでるという言い伝えがあります。晩秋には黄色になり大変美しく、勝山市の天然記念物に指定されています。大イチョウのほかにも、同じく樹齢約300年以上と推測される高さ約35m、幹周り5.8mの大きなスギも生育しています。神社の裏手側では、滝波川の流れにより堆積された礫層が観察できます。同じ大きさの礫が同方向に並んでおり、河川のどの方向に流れたかなどを学習することができます。

11 新薬師発電所

日本で4番目に創業した電灯会社「京都電灯」が、大正8（1919）年4月に完成させた水力発電所です。当時は800kwの出力を誇り、同年1月勝山変電所を結ぶ3.3kVの送電線が完成しました。この水力発電所は、繊維産業をはじめとする奥越の経済発展の礎になった施設です。現在は、北陸電力㈱の新薬師発電所として最大5000kw出力で稼働されています。薬師神谷には、「薬師」「神谷」の2つの水力発電所がありました。



旧神谷発電所

12 滝波川の河岸段丘②（薬師神谷、栃神谷）

木根橋から薬師神谷との間には最も標準的な階段状の地形が見られ、この辺りの集落栃神谷は段丘上に立地しています。集落が立地している段丘面が最も広い面で、主に水田として土地利用されています。



恐竜渓谷ルート

「恐竜渓谷ルート」は、「福井県立恐竜博物館」がある「かつやま恐竜の森」と多くの恐竜化石が発見されている「恐竜化石発掘地」を滝波川－杉山川で結んだ「勝山の恐竜たち」のルーツ（Root）を探れるルート（Route）コースです。

全長およそ8.0km、高低差約150mのルート上には、恐竜が生きていたころの中生代前期白亜紀の地質遺産のみならず、この辺りで火山活動があったことを証明する露頭や河川がつくり出した河岸段丘、自然遺産、歴史遺産等が点在しているため、地球や大地の歴史や不思議を楽しむ学習することができます。

徒歩や自転車に乗って、自分の足で大地を踏みしめながら、四季折々の自然や遺産をゆっくりと満喫できるコースです。

※降雪のため冬期間は一部利用できません。

恐竜渓谷ふくい勝山ジオパーク

ジオパークとは、地質・地形遺産を野外や博物館などで実際に見て、本やインターネットでは得られない手触りや体験、迫力から「地球」や「大地」の秘密や歴史を探り、自然や人間の生活にどのように関わっているか考えることができる場所です。

「恐竜渓谷ふくい勝山ジオパーク」は、勝山市全域をエリアとするジオパークで、メインテーマの「恐竜、恐竜化石」のほか、「火山と火山活動」、「地質・地形遺産と人々の暮らしとの関わり」とともに、地球活動の遺産を目で見て肌で感じる事ができる「大地の公園（Geo Park）」です。

ジオパーク、恐竜渓谷ルートに関する連絡先

〒911-8501 福井県勝山市元町1丁目1-1
勝山市役所企画財政部未来創造課ジオパーク推進室
TEL：0779-88-1115 FAX：0779-88-1119
E-mail：fk-geo@city.katsuyama.lg.jp
HP：http://www.city.katsuyama.fukui.jp/geopark/



水車小屋



神谷の水(ふくいのおいしい水)

13 面谷流紋岩（濃飛流紋岩）露頭

この岩石は、中生代後期白亜紀～新生代新第三紀にかけ、陸上の火山活動によって噴出した火山岩です。福井県では、面谷流紋岩と呼ばれ、広く県内に分布しています。この地では、新薬師発電所の付近から滝波川の対岸にかけて露出しています。

14 シジミ化石壁

薬師神谷集落と杉山橋との間の市道脇や市道から降りた川辺に、中生代中期白亜紀～後期白亜紀の手取層の露頭（砂岩、泥岩）が確認できます。露頭が連続する市道沿いから下りた滝波川の川辺には、淡水生の貝の化石が含まれている岩壁があります。これより上流の滝波川流域の河床等にも、よく観察すると、淡水生貝化石などを含んだものがあります。

15 滝波川峡谷

杉山橋付近にある滝波川の流れに侵食された断崖が続くところは、「滝波川峡谷」と呼ばれることがあります。現在の国道157号は、浸食崖上部に整備されている道路ということができます。その浸食崖沿いの道筋は、勝山から牛首（石川県白山市白峰町）、白山へ向かう交通ルート（牛首道）として古くから使用されてきました。

16 北谷町恐竜モニュメント

「日本一の恐竜化石発掘地のあるまち」をPRするために北谷町の人々が設置しました。国道157号線からのアクセス道路（市道）の入り口で、シダの茂みにたたずむ恐竜が、訪れる人をお出迎えしています。

1 かつやま恐竜の森

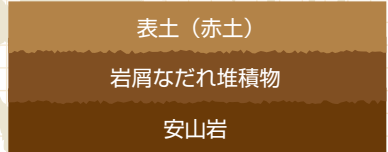
かつやま恐竜の森は、恐竜渓谷ルートのスタート地点で、里山の豊かな自然環境を保全した都市公園です。公園内には多数の恐竜造形物や恐竜をモチーフとした遊具があり、化石発掘体験やクロカンスキーなど四季を通して様々な自然の体験が行なえます。公園内には、レンタルサイクル施設があり、「恐竜渓谷ルート」の大地や自然を自転車で満喫する場合はご利用をお勧めします。

2 福井県立恐竜博物館

恐竜博物館の展示は「恐竜の世界」のほか、「地球の科学」「生命の歴史」の3つのゾーンから構成されています。国内の恐竜研究をリードしている施設です。子どもから大人まで楽しんで学習できる、また、研究者も満足できる学術的に裏づけされた展示がされています。4,500㎡という広大な展示室に、40体近くの恐竜骨格をはじめとする千数百点もの標本、大型復元ジオラマや映像などがあります。

3 長尾山の安山岩系柱状節理

この露頭では、柱状節理が観察できます。節理とは、溶岩が固まって冷えるときに、溶岩の体積が縮むために出来た規則的な割目（ひび）のことを言います。同様な岩壁が断続的に続いており、法恩寺山と尾根続きの「かつやま恐竜の森（長尾山）」の丘陵地形は、火山活動で噴出された溶岩が基盤となっていると考えられます。



4 滝波川の河岸段丘①（黒原、聖丸、深谷）

滝波川の両サイドには、河川の流路に沿って2～3段の平らな面（段丘面）と崖（段丘崖）が交互に続く階段状地形が見られます。この階段状地形のことを「河岸段丘」と言います。

黒原、聖丸、深谷付近に分布する段丘面は、二段の段丘面からなっています。段丘の標高は130m～190mで、段丘面は九頭竜川に向かって北西方向に緩やかに傾斜しています。この地形面は、かつての扇状地が段丘化したもので、いわゆる旧扇状地と呼ばれるものです。表土の下は平均径10～15cmの新鮮な円礫で覆われその層厚は8m前後あります。

17 杉山橋

現在の杉山橋は、市道の改良に伴い、平成19（2007）年に完成されたものです。この橋や道路改良により、恐竜化石発掘地と勝山市街地や福井県立恐竜博物館のネットワークが構築され、恐竜発掘調査研究が一層飛躍したと言えます。橋の欄干部分には、「フクイラプトル」と「フクイサウルス」の2体のレリーフプレートが埋め込まれており、橋の中間付近では杉山川の方向に真の「恐竜渓谷」を望むことができます。

18 杉山橋下の水辺

※水辺に降りることができます。

杉山橋の下の水辺は、水とたわむれることができる場所があります。浅瀬での水遊びのほか、滝波川と杉山川の双方の川の上流から様々な岩石が流れてきており、多様な種類の石を探し見つけることができます。稀に、化石を含んだ岩石が見つかることもあります。水辺には、国道157号と市道の合流地点手前から降りることができます。

19 ネムノキ

恐竜化石発掘地に向かうアクセス林道のところどころにネムノキが生育しています。ネムノキは、マメ科の落葉広葉樹で、森林の伐採跡地や造成斜面、河原などの人の手の入った森林の明るい場所によく生育しています。ネムノキは、梅雨の終わりから盛夏にかけて薄いピンク色の繊細で美しい花を咲かせます。

20 杉山川にそそぐ支流との合流点

夫婦滝を起点とする杉山川の支流と杉山川の合流点には、とても大きな岩の塊があります。その大きな岩からは、大きなオニグルミの木が伸びています。また、支流の河床を見てみると、ここにも中生代の手取層の地層が露出しています。

5 高尾岳（野向富士）

地元では「野向富士」と呼ばれ、野向町のシンボルとして人々に愛されている標高525mの山です。滝波川越しに見える田園風景は、高尾岳とともに調和している美しい風景です。

6 クワ

長尾山の山際には、クワが多く生育しています。クワは、昔盛んであった絹織物の絹糸（繭玉）をつくるカイコの餌として多く栽培されていました。現在では、クワを栽培している農家ははなくなっていますが、市内の各地で当時の名残をうかがうことができます。春になるクワの実は、甘酸っぱくて美味しいです。



自然観察会の様子

7 コスモス畑

まちづくりの一環として、薬師神谷区の休耕田を利用し、コスモス畑（約2.0～2.5ha）が整備されています。毎年花が見ごろの10月初旬に「コスモスマツリ」が開催され、様々な催し物が行われ、多くの観光客や写真愛好家などであたりが賑わいます。※毎年、作付けの位置が違います。

8 弁財天壁／柴田義宣の供養塔 9 女夫（めおと）岩

数十メートルにおよぶ岩壁（火山活動による）の一箇所に弁財天が祀られています。岩壁の前には、柴田勝家の一族の柴田義宣（監物）の供養塔と伝えられる石塔があります。柴田義宣は、谷城で七山家一揆に撃退され戦死しました。市内栄町にある「義宣寺」は、柴田勝安が義宣の菩提を弔うために建立したと言われています。

一方、薬師神社前の牛ヶ谷橋の下付近をのぞき見ると、河川の氾濫により流されてきたと考えられる高さ約3m、周囲約30mのふたつに割れた大岩があります。巨大なこの岩は、地元では「女夫（めおと）岩」と呼ばれています。弁財天が祀られる岩壁、女夫岩には、白蛇や黄金の橋などの様々な言い伝えが残されており、現在も地域の人々に大切にされています。

21 森林公園

※水辺に降りることができます。

恐竜化石発掘地周辺には、森林公園が整備されています。水遊びやフットパスコース（「恐竜のみち（至谷ブナ林）」「夫婦滝のみち（至夫婦滝）」）で森林散策などが楽しめます。恐竜化石壁対岸の高台からは、平成元年から継続して恐竜化石含有層を発掘した歴史が一目瞭然であるとともに、地層中の堆積構造などの観察をすることができます。

22 杉山鉱泉

杉山鉱泉は、山手斜面から崩落した火山性堆積物の上に立っている立ち寄り湯もできる鉱泉宿です。鉱泉の原石は、夫婦滝周辺の天狗壁と呼ばれる岩壁の岩石を砕いたものを使用しています。湯の成分は、酸化鉄、酸化マグネシウム、酸化カルシウムであり、火傷、切り傷、打身、擦り傷、あせも、関節の痛みなどに効くと言われています。9代目ご主人からお聞きする「天狗壁」のお話は聞き応えがあります。
http://www11.ocn.ne.jp/~sugiyama/ Tel 0779-83-1300

23 夫婦滝（夫婦滝のみち）

恐竜化石発掘地から杉山川の支流にある夫婦滝にかけて、およそ1.1kmの遊歩道「夫婦滝のみち」が整備されています。夫婦滝の落差は約30mあり、上部は分かれて両側に流れており、中ほどより一つになって流れて落ちている様子が観察できます。あたりは、新生代の火山砕屑（さいせつ）岩の壁（露頭）が発達しており、夫婦滝の滝壁はその岩石から構成されています。

24 恐竜化石発掘地

勝山市北谷町の杉山川の上流にある恐竜化石発掘地では、平成元（1989）年から3次にわたって福井県の恐竜化石発掘調査事業が行なわれています。これまでに国内で発見された恐竜化石の約8割がこの発掘調査事業により発見されています。斜めに見えるボーンベッドからはフクイサウルス、フクイラプトル、フクイティタンなどの新種恐竜化石が発掘されました。



前期白亜紀の地層



かつやま恐竜の森／恐竜博物館



滝波川の河岸段丘①／高尾岳



コスモス畑



滝波川の河岸段丘②



長尾山の安山岩系柱状節理



クワ



弁財天壁／柴田義宣の供養塔



面谷流紋岩露頭



女夫（めおと）岩



シジミ化石壁



薬師神社（大イチョウ）



滝波川溪谷



新薬師発電所



村岡山（御立山）



夫婦滝



杉山鉱泉



恐竜化石発掘地



北谷町恐竜モニュメント



杉山橋



杉山橋下の水辺（水辺に降りることができます）



ネムノキ



杉山川にそそぐ支流との合流点



杉山鉱泉



恐竜化石発掘地

ルートコースのおよその距離及び所要時間

ウォーキング（歩き） Walking

- ロング・ウォーク（片道約8.0km）…… 約210分
①かつやま恐竜の森 → ②恐竜化石発掘地
- ミドル・ウォーク（片道約5.0km）…… 約110分
①かつやま恐竜の森 → ⑦杉山橋
- ショート・ウォーク（片道約3.0km）…… 約50分
①かつやま恐竜の森 → ⑩薬師神社

ジオ・ポテ（自転車でゆっくり走る） GeoPotter

- ジオ・ポテ・ロング（片道約8.0km）…… 約60分
①かつやま恐竜の森 → ②恐竜化石発掘地
- ジオ・ポテ・ミドル（片道約5.0km）…… 約40分
①かつやま恐竜の森 → ⑦杉山橋
- ジオ・ポテ・ショート（片道約3.0km）…… 約25分
①かつやま恐竜の森 → ⑩薬師神社

※「ジオポテ（Geo Pottering）」とは、大地を楽しみながら地質・地形遺産や自然、歴史などの遺産や名所めぐりをゆっくり自転車で走るサイクリングのことです。

※所要時間は片道のもので、標準的な時間です。